

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「アジアにおけるくすぶり型骨髄腫患者の臨床経過に関する後方視的研究」の研究に使用する試料（情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料（情報）を使用します。

- 1) 期間：2004（平成16）年1月から2013（平成25）年12月
- 2) 受診科：血液・腫瘍内科
- 3) 対象疾患名：くすぶり型多発性骨髄腫
- 4) 使用する試料（情報）：診療記録

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：血液・腫瘍内科  
研究代表者：教授 長藤 宏司  
研究分担者：助教 大崎 浩一

2) 研究の意義と目的：現在のところ、くすぶり型骨髄腫（無症候性骨髄腫）は治療の対象とは考えられていません。しかしくすぶり型骨髄腫の患者さんの中には、近い将来症候性骨髄腫に進行して治療が必要になる方がいます。こういった方は症候性骨髄腫に進行する前に早期に治療を開始することで予後（病気の経過）をよくすることができる可能性があります。今回の研究の目的はくすぶり型骨髄腫の患者さんの経過や検査結果を詳しく分析することで、近い将来症候性骨髄腫に進行する危険が高い方、つまり早く治療を始めた方がいい方を診断する方法を確立することです。

3) 研究の方法：あなたのカルテから、臨床経過や血液検査、尿検査などのデータを収集いたします。

4) 研究期間：平成27年倫理委員会承認後～平成27年12月31日

5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：あなたが今回の研究の対象となるくすぶり型骨髄腫の患者さんだからです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：データは匿名化（個人が特定できないようにすること）して収集いたします。

7) 研究成果の発表の方法：研究成果については、研究の最終解析が終了した後、学会や論文などに発表いたします。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

大崎 浩一 久留米大学血液・腫瘍内科 助教

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

(TEL) 0942-31-7852 (FAX) 0942-31-7854